

テーマ

伝えようふるさとの人の魅力

事業実施地区（中学校区名）	江津市立江津中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	嘉久志地区コミュニティ交流センター 松平地区コミュニティ交流センター 郷田地区コミュニティ交流センター 和木地区コミュニティ交流センター

テーマの背景

地域の魅力ある伝統や魅力的な人々との交流の場を増やし、地域の人々のあたたかさやふれあいのよさを次世代に伝えていき、地域住民で地域を支えていく土壌をつくる。

実際の取組

⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、地域を守っていく活動の実施

事業名：地域の魅力ある人々によるふるまい推進事業

<取組の概要>

地域での暮らしを支えていただいている婦人会の協力を得て、日本人らしい「ふるまい」の一つでもある「茶道」の学びをとおして、ふるまいの向上、人への感謝、気遣いなどを学ぶ。



<成果と課題>

地域の文化祭に子どもが参加することで、地域の大人に学びの成果を見てもらい、地域の方々の交流の場の提供につながった。子どもの頃からコミセンを使った行事に参加することで、「地域で育った」という気持ちが、子どもの中に残ることにより、大人になってから、地域での暮らしや活動に抵抗がなくなると考えている。

④大人が地域の良さを学んだり体験したりするふるさと教育の実施

事業名：地域住民交流カフェ事業

<取組の概要>

交流カフェを開催することにより、地域の人々との交流を促し、地域の人で地域全体の人々を支えていく仕組みづくりを確立していく。



<成果と課題>

様々な地域講師のもと多くの地域住民の参加をいただいた。

参加された人々は交流も盛んに行い充実した時間が過ごせた。



まとめ

テーマに迫るためのポイント

一部の住民の参加にならないように、住民の参加について配慮した。
開催チラシの各戸配布や回覧の回数を増やした結果、多くの住民の方の参加をいただいた。

今後の展望

今後は事業の継続性が必須となってくるので、取組を継続したい。